

様式1 令和6年度 小金井市立小金井第三小学校 自己評価表							
学校教育目標							
○考える子ども 仲良くする子ども 働く子ども 体をきたえる子ども (○は今年度の重点項目)							
目指す学校像(ビジョン)							
【目指す学校像】		全教職員が子どもたちのために力を合わせる学校		子どもたちが自らの健康と安全を考えながら明るく元気に学ぶ学校			
【目指す児童・生徒像】		元気に明るくあいさつをする子ども		友達と仲良く学校生活を送る子ども			
【目指す教師像】		自らの授業力を高めようとして研究と修養に努める教員		自らの役割と責任を果たし教育活動を支える職員			
前年度までの学校経営上の成果と課題							
①今年度までの5年間、あいさつの励行に取り組み、大多数の子どもたちがしっかりとあいさつができるようになった。登校見守りをしてくれたい地域の方や来校者へのあいさつができるように働き掛けていく。③開校73周年になった。これまで愛校心の醸成や小金井へのふるさと意識の向上に取組んだ成果を生かしていく。④一昨年度、小金井市教育委員会研究奨励校の指定を受けて、児童一人一人に貸与されたタブレットなどのICT機器の有効な活用方法について実践研究を重ねた。それらの成果を今年度の授業づくりに積極的に生かす。⑤子ども基本法の主旨に則り、子供の意見を聴き、子供からの視点を尊重した学校運営を行う。⑥コミュニティースクールに指定されて3年次を迎えた。地域未来塾「三小らこや」の運営も軌道に乗せることができた。さらに保護者・地域との連携・協働を進めていく。							
中期経営目標		短期経営目標		努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)	
授業 変革の 推進	タブレットなどのICT機器も活用しながら「主体的・対話的で深い学び」をととした授業改善を行い、今年度の重点教育目標である「考える子ども」の育成を図る。	新学習指導要領の趣旨に基づいた「個別最適な学び」 「協働的な学び」を両立させた授業づくりを進める。	児童同士がかわり合いながら学習を進める場面を授業に意図的・計画的に取り入れる。		4 教員アンケート「授業では、子ども同士が何らかの形でかわり合うことを意図して授業づくりをした」への肯定的な回答が90%以上	4 学校公開時の保護者アンケート「子どもたち一人一人の活動が充実していた」に肯定的な回答が90%以上	
			今年度の重点目標「考える子ども」の育成に向けて、考えの力を伸ばす指導を行う。		3 教員アンケート「授業では、子ども同士が何らかの形でかわり合うことを意図して授業づくりをした」への肯定的な回答が70%以上90%未満	3 学校公開時の保護者アンケート「子どもたち一人一人の活動が充実していた」に肯定的な回答が70%以上90%未満	
		タブレットも活用し、互いに学び合い、考えの力を伸ばすように指導した」への肯定的な回答が90%以上		2 教員アンケート「授業では、子ども同士が何らかの形でかわり合うことを意図して授業づくりをした」への肯定的な回答が50%以下	2 学校公開時の保護者アンケート「子どもたち一人一人の活動が充実していた」に肯定的な回答が50%以上70%未満		
		今年度の重点目標「考える子ども」の育成に向けて、考えの力を伸ばす指導を行う。		1 教員アンケート「授業では、子ども同士が何らかの形でかわり合うことを意図して授業づくりをした」への肯定的な回答が50%未満	1 学校公開時の保護者アンケート「子どもたち一人一人の活動が充実していた」に肯定的な回答が50%未満		
の 護 ル テ コ 推 進 者 と イ ャ ・ 地 域 の ス コ 働 と 保 1	地域学校協働活動の円滑な実施に向けて、保護者や地域と共に三小の児童を育てる雰囲気醸成を図る。	PTAや各種ボランティア組織、地域の皆様と連携・協働すると共に、地域学校協働活動を立ち上げ、学校教育の充実を図る。	三小未来塾や地域学校協働活動を立ち上げると共に、保護者や地域の方、ボランティアを活用した授業を行う。		4 保護者や地域の方、ボランティアを活用した授業を行った学級が90%以上	4 保護者アンケート「学校は、保護者や地域の教育力を生かして教育活動を進めている」への肯定的な回答が90%以上	
			保護者や地域の方、ボランティアを活用した授業を行った学級が70%以上90%未満		3 保護者アンケート「学校は、保護者や地域の教育力を生かして教育活動を進めている」への肯定的な回答が70%以上90%未満		
			保護者や地域の方、ボランティアを活用した授業を行った学級が50%以上70%未満		2 保護者アンケート「学校は、保護者や地域の教育力を生かして教育活動を進めている」への肯定的な回答が50%以上70%未満		
			保護者や地域の方、ボランティアを活用した授業を行った学級が50%未満		1 保護者アンケート「学校は、保護者や地域の教育力を生かして教育活動を進めている」への肯定的な回答が50%未満		
豊 か な 心 の 育 成 と 体 力 の 向 上	元気にあいさつする児童を育成する。	教職員はもちろん、学校を支援してくださる大人へ明るくあいさつができる子どもを育成する。	全校朝会時の校長講話の話題として取り上げ、児童へ直接働きかけるとともに、担任が学級指導の中で随時あいさつの大切さについての指導を行う。		4 教員アンケート「元気よくあいさつをするよう指導している」への肯定的な回答が90%以上	4 児童アンケート「元気よくあいさつができた」に肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「元気よくあいさつをするよう指導している」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 児童アンケート「元気よくあいさつができた」に肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「元気よくあいさつをするよう指導している」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 児童アンケート「元気よくあいさつができた」に肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「元気よくあいさつをするよう指導している」への肯定的な回答が50%未満		1 児童アンケート「元気よくあいさつができた」に肯定的な回答が50%未満		
	児童の自己肯定感の向上を図る。	教職員による「認め、励まし、支援する」ことを中心とした、あらかわらわと子ども児童の自己肯定感を向上させる。	「その子なりにどれだけ伸びたか」を評価する個人内評価を中心にして、あらゆる学校教育の場面において、児童を褒めて育てることを中心に指導する。		4 教員アンケート「認め、励まし、支援することを心掛けている」への肯定的な回答が90%以上	4 児童アンケート「自分にはよいところがある」に肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「認め、励まし、支援することを心掛けている」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 児童アンケート「自分にはよいところがある」に肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「認め、励まし、支援することを心掛けている」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 児童アンケート「自分にはよいところがある」に肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「認め、励まし、支援することを心掛けている」への肯定的な回答が50%未満		1 児童アンケート「自分にはよいところがある」に肯定的な回答が50%未満		
	いじめをしないさせない許さない指導の徹底を図る。	いじめ見逃しをゼロにする。日常の児童観察と学期ごとのいじめアンケートの実施によるいじめの発見と早期に対応して問題の解決を図る。	日常の児童観察と学期ごとのいじめアンケートの実施によるいじめの発見と早期に対応して問題の解決を図る。		4 教員アンケート「いじめをしないさせない許さない指導を徹底した」への肯定的な回答が90%以上	4 保護者アンケート「学校は、子どもの心に寄り添って温かく接している」に肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「いじめをしないさせない許さない指導を徹底した」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 保護者アンケート「学校は、子どもの心に寄り添って温かく接している」に肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「いじめをしないさせない許さない指導を徹底した」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 保護者アンケート「学校は、子どもの心に寄り添って温かく接している」に肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「いじめをしないさせない許さない指導を徹底した」への肯定的な回答が50%未満		1 保護者アンケート「学校は、子どもの心に寄り添って温かく接している」に肯定的な回答が50%未満		
児童の体力の向上に取り組む。	友達とかわつて遊ぶことをとおして、学校の楽しさを味わい、体力の向上に取り組む。	各学級で外遊びをするように児童へ働きかける。		4 教員アンケート「校庭遊びができる休み時間には、外遊びをするよう指導した」への肯定的な回答が90%以上	4 児童アンケート「校庭遊びができる休み時間は外遊びをした」に肯定的な回答が90%以上		
		3 教員アンケート「校庭遊びができる休み時間には、外遊びをするよう指導した」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 児童アンケート「校庭遊びができる休み時間は外遊びをした」に肯定的な回答が70%以上90%未満			
		2 教員アンケート「校庭遊びができる休み時間には、外遊びをするよう指導した」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 児童アンケート「校庭遊びができる休み時間は外遊びをした」に肯定的な回答が50%以上70%未満			
		1 教員アンケート「校庭遊びができる休み時間には、外遊びをするよう指導した」への肯定的な回答が50%未満		1 児童アンケート「校庭遊びができる休み時間は外遊びをした」に肯定的な回答が50%未満			
心 の ふ る さ を 醸 成 と 意 識 校 園	地域の教育資源「ものひろ」とを積極的に活用した授業づくりを通して、学校・地域・ふるさと小金井への郷土愛を醸成する。	地域の教育資源「ものひろ」とを積極的に活用した授業づくりを通して、学校・地域・ふるさと小金井への郷土愛を醸成する。	各教科等で学校や身近な地域にある「ものひろ」を活用した授業づくりを進める。地域や外部の方をゲストティーチャーとして授業にも来てもらうなどの取組を進める。		4 教員アンケート「学校や身近な地域を活用した授業づくりに取り組んだ」への肯定的な回答が90%以上	4 児童アンケート「小金井やのまちがすき」に肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「学校や身近な地域を活用した授業づくりに取り組んだ」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 児童アンケート「小金井やのまちがすき」に肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「学校や身近な地域を活用した授業づくりに取り組んだ」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 児童アンケート「小金井やのまちがすき」に肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「学校や身近な地域を活用した授業づくりに取り組んだ」への肯定的な回答が50%未満		1 児童アンケート「小金井やのまちがすき」に肯定的な回答が50%未満		
全 健 康 教 育 の 育 進 ・ 進 ・ 進	児童が自らの健康と安全を考えながら学校生活を送ることができる。	「自分の命は自分で守る」ことの大切さを理解させ、自然災害や不審者対応で適切な行動ができるようにする。	毎月の避難訓練や軽微な地震が発生した時に「おかしも」の基本的な行動様式を繰り返し伝え、子供たちが身に付けることができるようにする。		4 教員アンケート「児童が自らの安全を守るための適切な行動ができるように指導した」への肯定的な回答が90%以上	4 児童アンケート「自分の命は自分で守ることを意識して、避難訓練に取り組んだ」への肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「児童が自らの安全を守るための適切な行動ができるように指導した」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 児童アンケート「自分の命は自分で守ることを意識して、避難訓練に取り組んだ」への肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「児童が自らの安全を守るための適切な行動ができるように指導した」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 児童アンケート「自分の命は自分で守ることを意識して、避難訓練に取り組んだ」への肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「児童が自らの安全を守るための適切な行動ができるように指導した」への肯定的な回答が50%未満		1 児童アンケート「自分の命は自分で守ることを意識して、避難訓練に取り組んだ」への肯定的な回答が50%未満		
尊 子 重 供 の 権 利 の	子ども基本法の主旨に則り、子供の権利の尊重に取り組む。	教職員の視点だけで学校改善・授業変革の取組を進めるのではなく、当事者である子供の視点を大切に。	「三小のやくそく」の改訂や学校行事の内容、より学校生活を送るために「子供の意見を聴くこと」の取組を進める。		4 教員アンケート「子供の声を聴くことに努力した」への肯定的な回答が90%以上	4 保護者アンケート「学校は、子供の声を聴くことに取り組んでいた」への肯定的な回答が90%以上	
			3 教員アンケート「子供の声を聴くことに努力した」への肯定的な回答が70%以上90%未満		3 保護者アンケート「学校は、子供の声を聴くことに取り組んでいた」への肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 教員アンケート「子供の声を聴くことに努力した」への肯定的な回答が50%以上70%未満		2 保護者アンケート「学校は、子供の声を聴くことに取り組んでいた」への肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 教員アンケート「子供の声を聴くことに努力した」への肯定的な回答が50%未満		1 保護者アンケート「学校は、子供の声を聴くことに取り組んでいた」への肯定的な回答が50%未満		
充 現 共 実 支 に 生 援 向 社 教 育 た の 育 た の 特 実	特別支援教室「大空教室」での指導の充実を図る。支援が必要な児童への校内での情報連携・行動連携を図る。	特別支援教室「大空教室」巡回指導教員との情報連携を図る。特別支援教育についての校内での情報連携・行動連携を図る。	定期的な特別支援教育校内委員会(連携)を開催し、学級担任と巡回指導教員との情報連携ができるようにする。		4 特別支援教育校内委員会(連携)を毎月1回以上行って情報連携をした。	4 保護者アンケート「学校は、子どものことについて連絡・相談したい時に適切に対応してくれる」への肯定的な回答が90%以上	
			3 特別支援教育校内委員会(連携)を2月に1度行って情報連携をした。		3 保護者アンケート「学校は、子どものことについて連絡・相談したい時に適切に対応してくれる」への肯定的な回答が70%以上90%未満		
			2 特別支援教育校内委員会(連携)を学期に1度行って情報連携をした。		2 保護者アンケート「学校は、子どものことについて連絡・相談したい時に適切に対応してくれる」への肯定的な回答が50%以上70%未満		
			1 特別支援教育校内委員会(連携)を行わなかった。		1 保護者アンケート「学校は、子どものことについて連絡・相談したい時に適切に対応してくれる」への肯定的な回答が50%未満		